

2020.3.19

緑野中学校卒業式レポート

新しい門出を祝うかのような、うららかな春の日に、第十二回卒業式が挙行されました。

新型コロナ・ウィルスが世界中を震撼させる中、決して小さくまとまるのではなく、現在の環境下で安全に、温かくも厳粛に三年生を送り出すには、どうするのが最善なのか、先生方をはじめ、多くの方々の工夫や愛情が詰まった日だったことをお伝えできればと思います。

Entrance

学校公開の度に装いを変える正門前の看板。満開の桜の間に覗く青空が素敵です。さあ、入っていきましょう。



玄関で受付。受付担当の先生から、生徒が保護者に宛てた手紙を手渡されました。その横には、小学校の先生方や緑野中学でこれまでお世話になった先生方からの祝電が。また例年生徒会が作成する壁面ボードも今年は三年学級代表委員さんたちが満開の桜を再現してくれました。三年生それぞれが決意や思い出を書いています。



Corridor

廊下には、先生や在校生から、卒業生に向けたメッセージが飾られていました。式を前に、三年生たちは卒業を実感していたことでしょう。



Class rooms

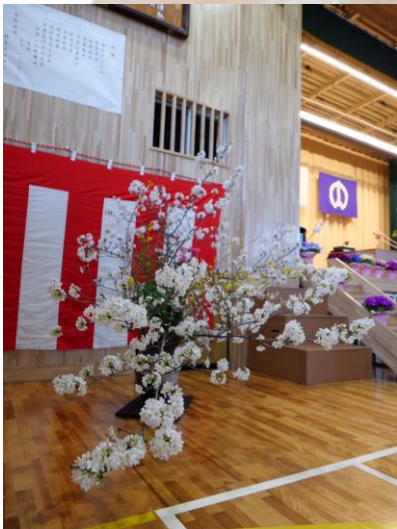
先生方や友人と過ごした教室。今年のクラス黒板は、先生方がご準備してくださいました。それぞれのクラスのカラーが輝いています！

机の上の記念品は三年学級代表委員さんがご準備くださった記念品の印鑑と、思い出動画のDVD。保護者会での映写用に吉原先生が寝る間も惜しんで作ってくださった動画のデータを提供いただき、他の行事も併せて学級代表委員さんが制作してくださいました。



Flower Arrangements

緑野中学の式典で、いつも華やかさを演出してくれる生け花。井口先生をはじめ、緑野中PTA生け花サークルの皆様による渾身の作品です。今日の卒業式では、校庭の桜、紅白に着色した竹のモチーフを用いた創作生け花、そして思い出の映像や卒業証書を受け取る生徒の顔を映すスクリーンの下には、1年、2年、3年と、成長しゆく様子を表現された若竹が、式典会場をより荘厳な雰囲気にしてきていました。



Ceremony

窓が開放された式場入口には、アルコール消毒液が完備。出席者は先生方、卒業生、そして生徒会の1・2年生と保護者は生徒一人につき二人まで。座席の間隔は広く開けていただいていたました。

いよいよ卒業生の入場。先生方と保護者とで「贈る言葉」のサプライズ斉唱で迎えます。国歌と校歌斉唱、学事報告の後は、卒業証書授与です。校長先生はマスク着用で、一人ひとりに証書をお渡しくださいました。

校長先生の式辞は、難病を克服されたロボット工学者、古田貴之工学博士の、重く、そして勇気を頂けるお話でした。

続く生徒会長の送辞は、卒業生との思い出、憧れ、そしてこれからの緑野中のリーダーとしての決意。先生方や後輩の皆さんにも恵まれていることが感じられました。生徒会の皆さんは、少人数ながらスタッフとして動いてくれ、頼もしい限りでした。



最後は門出の言葉です。代表の三名は、この三年間、楽しい時も辛い時も、いつも友達がいてくれたこと、バスケットボールの部活で、必死で頑張ったけれど目標に届かなかった悔しさ、そして新型コロナウイルスの感染拡大で色々な行事が中止になり、普通に学校に行けることが当たり前ではないと感じたことを、涙をこらえて力強く語り、聴く者の胸を打ちました。

三人のメッセージのリレーに織り込むように、合唱コンクールで熱唱した『大地讃頌』、『手紙～拝啓 十五の君へ～』を卒業生が合唱、最後の『旅立ちの日に』は生徒会のメンバーも一緒に歌ってくれました。こうして無事、閉式となりました。



Viva! Midorino-Power!



式が終わると、最後のホームルーム。保護者は玄関から正門、グラウンドに繋がる「花道」で、卒業生が出てくるのを待っています。

気温は20度近くまで上がり、空は快晴。式の緊張も解け、柔らかな表情になった卒業生がいよいよ緑野中学校を巣立っていきます。

先生方や保護者から拍手で送りだされた卒業生は、グラウンドでクラスごとに円陣を組んだり、記念写真を撮ったり、また部活動ごとに集まって、1・2年生から激励の言葉をもらったり…。皆が最高の笑顔でした！



去年やったようにやるのではなく、今やるべき目的のために、今できることは何か、考えて行動する。そんな「緑野力」を、しっかり目に焼きつけることができた卒業式、そして緑野中学の三年間でした。

先生方、地域のサポーターの皆様、本当にありがとうございました！

